

特56

881

館書圖京東

函八四

門新

架五

部四一

號

類

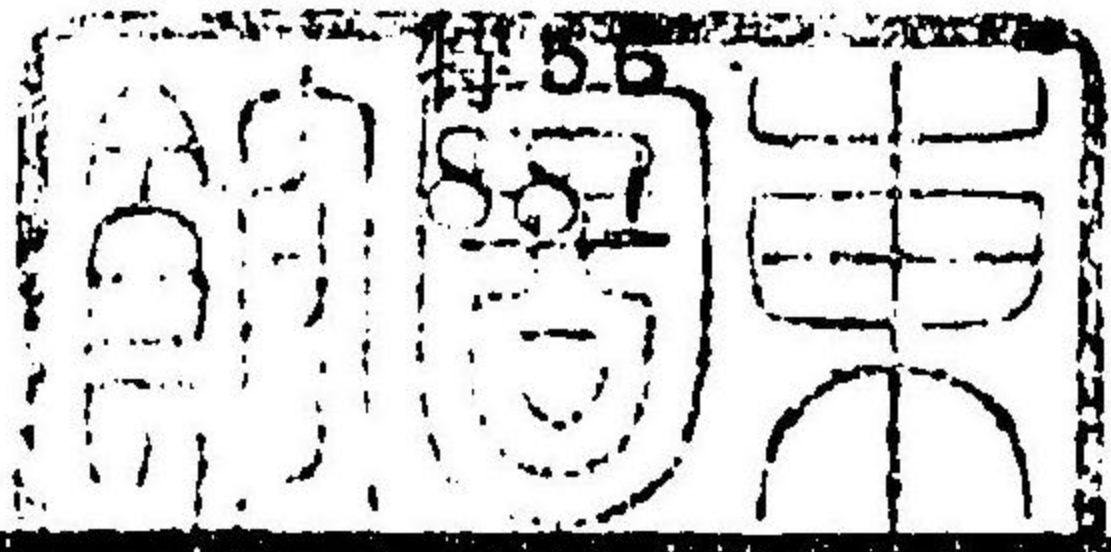
聖成十化更

權少教正 穴野半贊說
權訓導伊藤六郎兵衛原說
扶桑教會編輯掛礮稻綺永著述

全一冊

一卽五成十化更始一

明治十三年第八月 扶桑教會丸山講社藏版



卽五成十化更始一

神道扶桑教會大教主權少教正 穴野半贊說

扶桑教會丸山講社總長伊藤六郎兵衛原說

扶桑教會一等講師兼編輯掛礮稻綺永著述

神典かみ天御中主神あまのなかつまのかみと曰いひ漢籍かんのせき上帝かみ或あるハ天帝てんていと云いひ
た無上むじやう至尊しそん坐ま中ちゆうと稱なづ奉ほうりてん天神てんじん之の貴者たかきもの莫な貴たか於を天あま一
或ある曰い大陰たいいんとあ系けいハ全ぜんら我われがお大祖おほいそ參神まゐりかみの御事みことハこ此神こゝのかみ
や陰陽いんやう兩德りやうとくとま總持そうぢして幽邃ゆうすい玄妙げんめうの大德たいとくと具備そくび一恒いつこゝろ不靈ふりやう

權少教正 穴野半贊說
權訓導伊藤六郎兵衛原說
扶桑教會編輯掛礮稻綺求著述

全一冊

一卽五成十化更始一

明治十三年第八月 扶桑教會丸山講社藏版

卽五成十化更始一

神道扶桑教會大教主權少教正穴野半贊說

扶桑教會丸山講社總長伊藤六郎兵衛原說

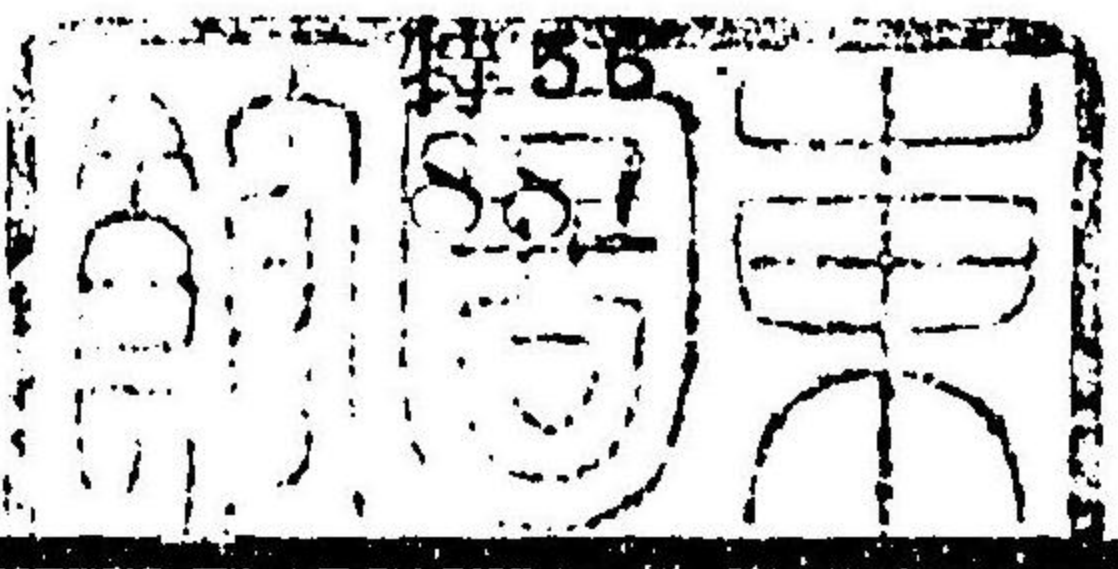
扶桑教會一等講師兼編輯掛礮稻綺求著述

神典不天御中主神と曰ひ漢籍ふ上帝或ハ天帝と云ひ出

た無上至尊ふ坐せんと稱奉りて天神之貴者莫貴於天一

或曰大陰と何家の全ら我が大祖參神の御事不〜此神

や陰陽兩徳と總持して幽邃玄妙の大徳と具備一恒不靈



一冊

氣と一と大虚小盈満せり以て生成の道と脩め万物と
 化育し日月星辰國土の更なり神入草木禽獸蟲魚風雨霜
 露寒暑晝夜古往今來顯世幽界に至るまで万物皆悉く天
 一の神機不據て始まる者なり抑も天一の陰陽と活潑と
 一の機軸をれを天一の天神即ち大祖參神の神機力と以
 て陰陽活潑をきりめ給ふ故に水は木と生し木は火と生
 し火は土と生し土は金と生し五元始りて整ひ而して水
 は火小克て火は金小克ち金は木小克ち木は土小克ち土

へ水小克ち五元交生し五元交克ち全くと十數ふ了りて一
 小復り亦一小始りて者なり木火土金水の五元始りて
 万物繁成をば小功用と為る者なり然るに水と掌る小彌
 都波能賣神等あり火と掌る小迦具土神等あり木と掌る
 小久久能智神等あり金と掌る小金山毘古神等あり土と
 掌る小波邇夜須毘賣神等あり辞分て五穀と掌る小大
 宜津比賣神等あり野草と掌る小麻屋野比賣神等あり
 分掌主宰すると其統る所は一ふりて彼の諸神と使役し

給ふを即ち朝廷ふ〜大臣參議より郡戸長ふ至るゆが
 凡百の官吏と置り〜と同〜百神有職の大原と掌握
 し給ふを乃ち大祖參神ふ坐〜百神悉く神詔を奉〜
 之が主宰なるたと得る者〜敢て自ら恣ふ主宰と
 するの神ハ一神ハ之とあり〜而〜亦日月星辰
 國土と主宰する神の神命と奉〜百事と分掌する所の
 神ハ亦之あり是と彼の官省ハ譬ふれば官省必之と主
 宰するの長官在り〜長官ハ附庸する属吏あり属吏ハ

能く長官と輔け事務と整理するを以て職とし長官ハ
 其功大ハ積んで國家と經綸するの大業と翊賛するふ至
 る如く百神ハ亦其職と奉じ主宰の神と輔相〜大祖參
 神の造化ハ參與を爲ことと得せ〜あり鳴呼宏〜
 哉日月星辰國土と主宰する神徳微妙の神の如きふ至り
 ても尚大祖參神の大徳ハ因て其職を奉〜成得て而し
 て大祖參神の靈徳無涯不測〜實ハ言辭の及ふ可ハ
 況や詞章と以て其萬一たも述ら〜を得る也之

と思つて寤寐の間も於ても敬崇の意を失ふべからざる
 所以の神に侍り大祖參神も坐中んやう然きを一神二神
 の功德を以てん波の五穀草木とたゞ生成せしむること
 不能者やう如何とやれば天日の光彩地氣も透和し火氣
 水氣種々調和し一物と化生する者やれば五穀草木繁
 茂し人も飲食衣服住宅を賜ふ是亦他神もやう乃
 ち大祖參神の大賚よりして出るを得る者も一之を唯
 ん五穀豐熟もやう大空津比賣神等の功德より草木繁茂

きうハ鹿屋野比賣神久々能智神と大山津見神等の功
 用より其分掌する神と賞賛する草木の枝葉を識
 り其幹根を知らざる者と云ふべし此も人在て其花の
 祭爛たる其香の馥郁たるを觀んと欲せん能く草木も培
 養せされば見ることろと等しく其根を捨て枝
 葉たる分掌百神の功德を賞し其神恩の報ぜんとす
 り者の何でう芬芳たる花香と見ること得るまき其幹根た
 り大祖參神も念誦祈誓せば神詔を奉り分掌主宰たる

枝葉の百神感應し給はんことと少り疑と容きざる所なり
 然りとて大祖奉神やの敬せば餘神ハ卑むル可なりと
 云ふも非也若し大祖奉神とし敬し餘神と卑
 むる在らば神理ハ悖るの罪人なり其ハ天皇との尊敬
 せむ可なりとて官吏と茂如せば乃ち國家の罪人なりと
 免かれざる如く終りの敬と大祖奉神ハ失ふハ幾きと以
 てより唯畏敬を修み本末上下の別を以て為べし
 況や生民ハ衣食住と賜り食物とマモノト云ふハ則
 ち大祖奉神のタマモノと云
 ふ言ハ略禽獸蟲魚ハ至る中ぐ各自生と養ひ命と保つこ
 言なり
 とと得る者ハ一々殊更ハ人の精粹純濃最靈の氣と稟り
 て大祖奉神の愛育と忝ふ爲まのこなり此性靈を賜ひ血

脈の原質と 血脉の事ハ神父母奉大恩と云書 受く大
 元の父母ハ坐中せり其ハ誰ハたれハ其親其祖と次第
 ハ原ハ溯る時ハ世人悉く出自の大祖ハ天一の大祖奉神
 ハ復歸せざるを得ざるなり彼の性靈と云ふハ即ち大祖
 奉神の大虚中ハ充塞する所の靈氣中恍惚なる精神より
 賦與し給ふ所なり亦大祖奉神の主宰ハ給ふ所なり是
 と以て顯世ハ生るも終ハ都天ハ還原するも終ハ大祖奉
 神の爲め所ハ保りて自餘の神之と指揮するを得ざる者

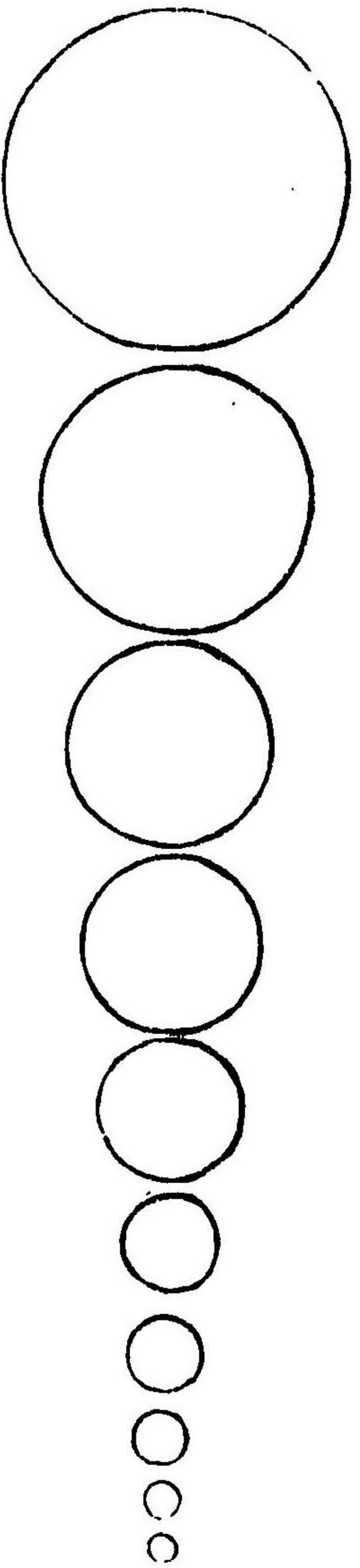
小あつび然き俗間小歸依信仰する阿弥陀如來も觀世
 音菩薩も地藏菩薩も其他の如來明王菩薩々瑤不動開覺
 の類も至るゆへ大祖參神の陰陽活潑いんやうかつぱく五元ごげんと十化じゅうけを
 給ふ神機力も據て木佛金佛石佛等の像と製造す
 る者りれば大祖參神小對し奉りて彼佛菩薩を念ぶる題
 目念佛或ハアヒラウンケン等の如きと唱誦するハ喻へ
 ば其父母より血統と受繼のこりて財産と讓受し子孫
 として養育の恩財産の恩ハ思はば此家ハ工匠の造

きり此疊ハ疊職の教りりと父母の前とも忌憚ら
 ず彼の職人と賛美之と朝夕の談話と為そ者の如し
 父母の職人等小謝も親の心子識らばと云ふ但語の如
 く父母の至情小決し悪しとい思ひきき通す敏智の
 産の子と思ひしゆゆ幼子の思慮ゆるくと却て愛と
 速に給ふ疑と蹴と此道理と聞たらんみり能く
 心せざい在る可うらざるなり
 然き日月星辰國土長つ小天小中し空小繫り終古地
 小落せ萬世位と奈き四時行き昼夜と爲し百物生し万
 物成るごとと得るも皆悉く天一の神乃ち大祖參神の靈

氣と大虚不充滿せしめ陰陽活潑せしめ給ふ神機力よ
 出る彼の五元と十化一給ふ玄理より出る所ふくく一よ
 り十不至り十ハ即ち一不出て一不復る此十數の妙用何
 所あり到らざる所何物あり及ばざる物あらむ人體手足の指の十
 箇ありハ更り男子の體中九穴ありハ婦女ハ十竅不し
 て妊娠アつて十ヶ月ありハ分産ありハ是き十數生成の
 証徴と云故ふ上古天照大御神忿怒く天石屋戸に刺籠
 らせ給ふ時ハ天宇受賣命の一二三四五六七八九十と謡
 はず舞踊給ふ天照大御神の神怒と解き天石屋戸と出

御一給ひ六合再び照明やるととを得たり亦天神の天穗
 日命ハ十種の神寶と授け若し死人在らば一二三四五六
 七八九十と唱く此十種の神寶と振り以て復生せし
 めよと神授在り如く此數言の世界万物ハ功用と爲す
 こと今初身人世日用物と算へ日と數へ一時一刻と難と
 も云ハざる人ヤ死ハ即ち大祖參神のハ即十化く万物
 と鎔造化育一給ふ靈妙不測の神徳と忘まば御神名と共
 小時々刺々不誦まざるもの災禍とく自然ハ幸福なら

一身玉成十化更始
 給ふ之れ乃ち生民を愛育し給ふ神徳鴻大なる大祖
 參神の神慮より出る所なり如此至らざる所なり盡
 する所なき大祖參神の大慈恩ふ報ぜんとは欲するの念
 なく人となまむらば宜し正意誠心とて敬信報
 謝せまきなり



此こゝ五ご元げん十じゅう化くわ一いつより十じゅうふ至いたり十じゅう八はち即すなはち一いつふ出でて一
 小せう復ふく一いつ亦また一いつ小せう始はじめまる其その一いつ微みふ一いつ漸しだ大だいふ至いたる造ぞう化くわ十じゅう数すう
 の妙めう用ようと圖と一いつ童どう蒙もうふ論ろんさんと凡ま夫まき世よふ禍わざはひと來きにし
 福ふくと生うむるら彼かの恭こう山さん之の雷らい穿せん石せきと云いへるが如ごとく其その元げん微み
 小せう漸しだ積じく一いつ大だいふ至いたる者ものやれバ微み小せうなることこそ却かえ
 て丁てい寧ねい反はん覆ふくふ慎しんむべき者ものなり其そのと近ちかく譬たとへて云いへば八や
 心こゝろ兼かねの思おもひ量はかりりの御ご惠めぐみもゆく浅あ智ちもそ猥わづらふ億いっ萬まんの
 蓄たくわ金きんとおさんと思おもひ十じゅう圓げんの金かねと直ただちふ一いち萬まん圓げんふせんと

思おもひひ必かならずずず禍わざはひと生うままるる産うままるると破やぶららるる一ひと二ふた三さん四よ五ご六む七しち八はち
 九ここの十とと嚴げんふふ正ただ算さんしし漸しん次じにに一いち時ときの貪えん欲よくををひひききがが終はつ
 小こ成せい功こうををままささきき者ものなり是こをを別わかちち造ぞう化か十じゅう數すうの妙めう用ようをを以もつつてて修しゆ
 身かみ齋さい家けの教けう誡じたる其ま一いつと示しせせるる者ものなり人ひとたらん者もの能よく
 心こころししくく身みと修かめめ家けと齋さいへ道みちを履ふきき神かみと崇たかめめて忽たちちちせせふ
 為なるる者ものなり

此の圓圖や權訓導伊藤六郎兵衛の持論なりと一日我
 が大教主小質問せしところの在りし十教ハ斯なりと論

らひ定らきしと傍聞せし予も著述ししと云はる
る天賦夔夔訥ふしと云ふこと能りて盲して筆を
ととを得ず僅つる其萬一と述るもの之尚委し御太
則問答富士信導記先達世話人問答世界新教啓端略綱
等も就て見ればし

千葉縣平民

著述

礮 稻 綺 求

東京芝區新撰田町
拾九番地寄留

出版

扶桑教會丸山講社藏版

東京芝區芝神明町
廿五番地

明治十二年八月一日版權免許

扶桑教會必要書目錄

○世界新教啓端略網 未刻 一冊

○御太則問答講釋 一冊

○神 德 經 一卷

○先達世話人問答

○教 脉 略 傳 近刻 一冊

○一卽五成十化更始一 一冊

○改教童子問答 一冊

○富士信導記 一冊

○神父母參大恩 一冊

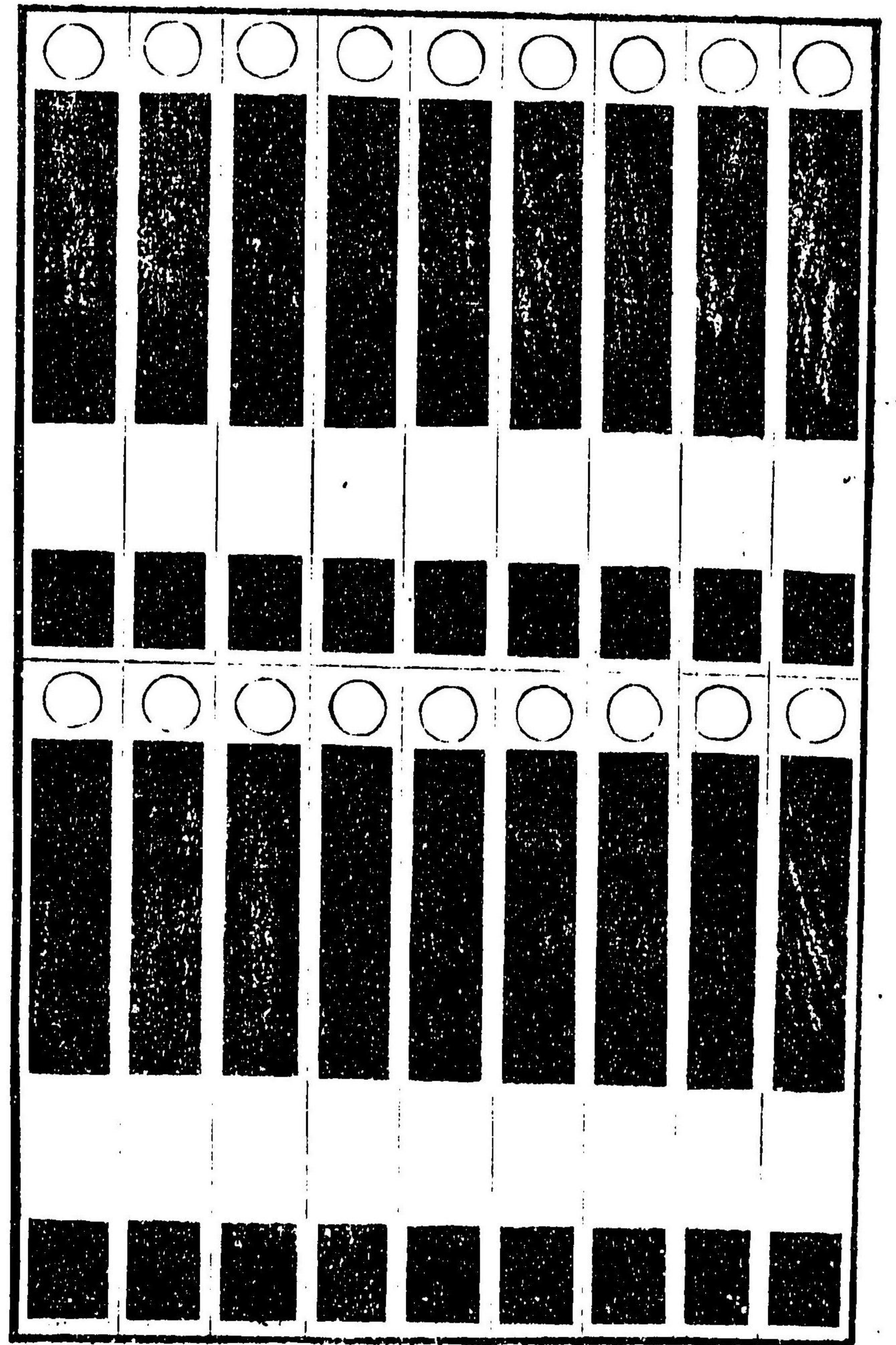
○烏帽子岩直傳 一卷

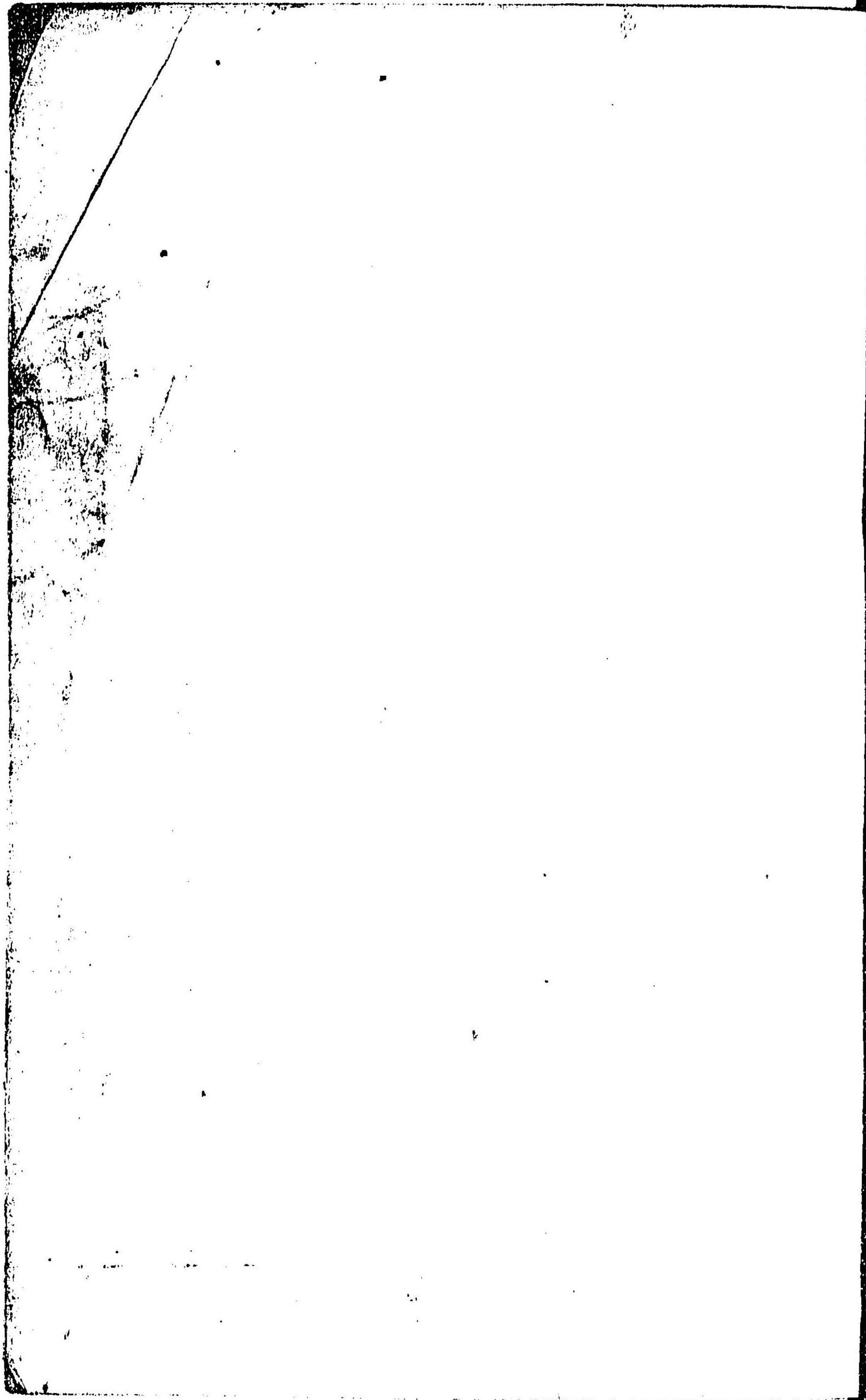
○三條大略問答 近刻 一冊

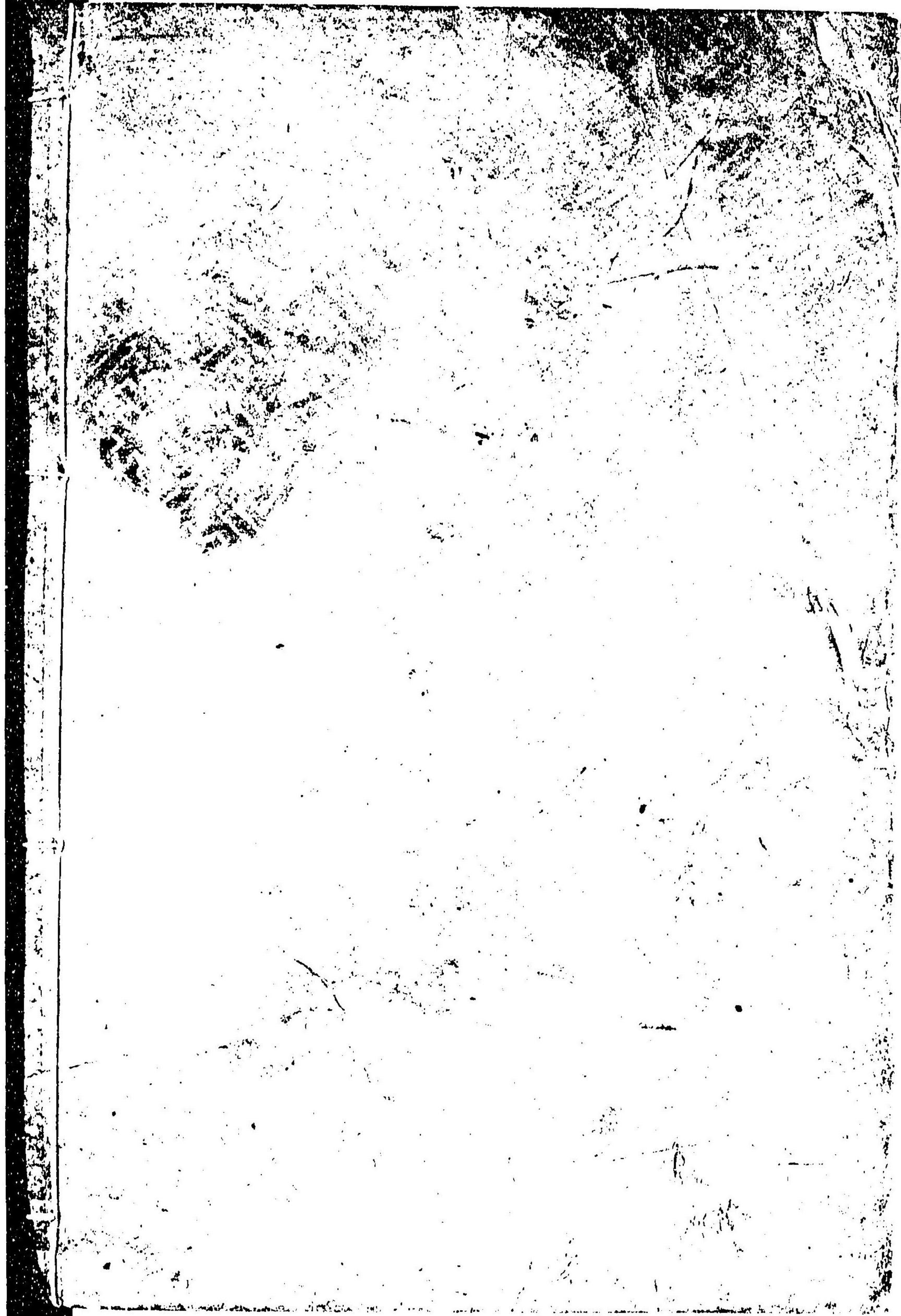
○道 の 一 筋 近刻 一冊

○富士の往昔語 近刻 一冊

○師範之恩 一冊

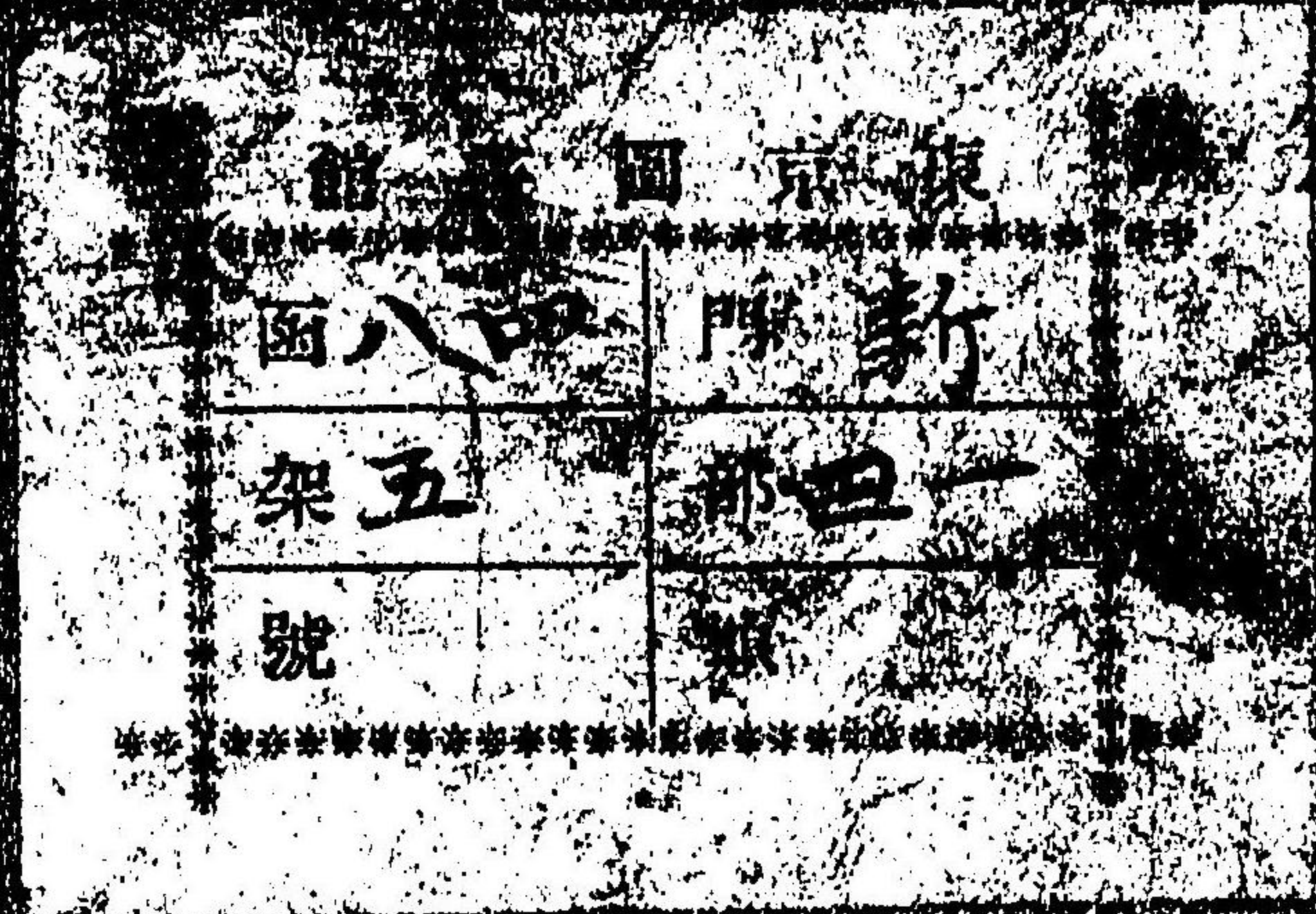






特56

881



013840-000-7

特56-881

一即五成十化更始一

伊藤 六郎兵衛/原説

M12

ABB-0049

